



もがみ 仕事の魅力



2020
Vol.18
2月
通信

「もがみ仕事の魅力通信」とは、最上総合支庁と企業等が連携して行う最上地域の人材育成・地元定着に向けた取組みをお知らせする通信です



MOGAMI
地域同期会

第3回

未来のための学びを、仲間とまちと。

ルーキーズカレッジ

～「誰もが働きやすい職場づくり」を考える～

2月20日(木)、「第3回MOGAMIルーキーズカレッジ」を開催し、地元事業所の若手社員29名が参加しました。

今回は「誰もが働きやすい職場づくり」をテーマに、課題設定から解決策の検討、プレゼンまでの一連のプロセスを学ぶ、プロジェクト型研修。グループに分かれ、お互いの職場の状況などを出し合いながら、問題点の検討を行いました。その後、地元企業の経営者や管理職の方にインタビューを行い、提案をブラッシュアップ。限られた時間でしたが、皆さん協力し合い、日ごろ感じている悩みや課題を基にしっかりと提案をまとめ、発表してくださいました。どのグループからも、「社員同士のコミュニケーション」という視点からの提案がなされました。

アドバイザーの方からは、「待ちの姿勢ではなく、自分から動くこと」「自ら新たな気付きを見つけ、成長していける人になってほしい」といったエールをいただき、管理職と若手社員の相互理解を深めることにもつながりました。



研修メモ

講師：Idea partners 代表：山本 一輝 氏

- ★「これからの時代」の社会人には、「自ら考え、問題を発見し、多様な他者と協働して課題解決ができる力」が求められる。
- ★プロジェクト遂行には、チームワーク、リーダーシップ、表現力、想像力、時間管理などが必要。



【アドバイザーの皆様】

山形航空電子株式会社

・総務部長 菊地 暢義 様

有限会社大沼産業

・代表取締役 大沼 寿彦 様

株式会社ヤマムラ

・総務課長 沼澤 理美 様

沼田建設株式会社

・専務取締役 金田 敦志 様

株式会社ヌマザウ

・常務取締役 沼澤 紘一 様

提案内容

A班 問題点：残業が減らない要因の1つは、仕事を指示する部署と現場のコミュニケーション不足。

ゴール：部署間の円滑なコミュニケーションが生産性の向上につながる

提案：全従業員参加のイベント、レクリエーション大会の実施
管理職(管理側)に現場を見てもらう

B班 問題点：有休休暇を取りたくても代わりの職員がいない、教えてもらう時間もない。

ゴール：「聞きやすく、教えやすい」職場にしたい!

提案：実践的な教育(研修)の実施
質問しやすい雰囲気づくり
(全員参加の委員会制度の立ち上げによる交流促進など)

C班 問題点：人手不足。わからないことが聞きづらい。

ゴール：コミュニケーションを密にし、風通しが良く、働きたくなる職場にする

提案：上司と部下で、報告するタイミング、求めているレベルを事前に共有する
人任せではなく、報告・相談しやすい環境づくりを自分から行う

D班 問題点：仕事の偏りが生産性を低くしている

ゴール：派遣社員を含め、業務分担のバランス等を見直し、カバーし合える環境を作る

提案：雇用形態の違いを踏まえた上で協力し合える体制づくり、受け身ではなく自分からコミュニケーションを取る。

参加者の声

- ★現場に持ち帰る考えがたくさんあった。
- ★プレルーキーズカレッジから引き続き計4回参加して人脈が広がりました。
- ★会社に同期や年の近い人が少なく、相談できずに辞めてしまうのだと思うので、こういう機会はどんどん増やすべき。

◎後輩や新入社員にルーキーズカレッジを勧めたいですか? : 「はい」 86%

主催者より

ルーキーズカレッジ全3回の学びを通して、会社や業種の枠を超えた「地域同期」のつながりが生まれ、皆さん活き活きと交流している姿が印象的でした。若者が活き活きと働き、活躍する地域を目指し、来年度も引き続きルーキーズカレッジを開催してまいります。



問合せ先

発行日：令和2年3月
山形県最上総合支庁
地域産業経済課
☎ 0233-29-1309